

資料 2 第 135 回火山噴火予知連絡会について

平成 28 年 6 月 14 日、第 135 回火山噴火予知連絡会が開催された。同連絡会では、全国の火山活動の評価のほか、口永良部島等の火山活動について特に重点的に検討を行い、委員及び関係機関からの報告をもとにとりまとめた。その結果を気象庁が以下のとおり発表した。

第 135 回火山噴火予知連絡会 口永良部島の火山活動に関する検討結果

口永良部島では、引き続き噴火の可能性がありますが、昨年（2015年）5月29日と同程度の噴火が発生する可能性は更に低下していると考えられます。

新岳火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う大きな噴石及び火砕流に警戒してください。また、向江浜地区から新岳の南西にかけての火口から海岸までの範囲では、火砕流に警戒してください。

口永良部島では 2015 年 6 月 19 日のごく小規模な噴火後、噴火は発生していません。

火映は観測されておらず、新岳火口の西側割れ目付近の熱異常域の温度も低下した状態が続いています。

新岳火口付近の火山性地震は、2014 年 8 月の噴火前よりやや少なく、また火山性微動は観測されていません。

地殻変動観測では、新岳火口を挟む G N S S の基線長に、2016 年 1 月頃から縮み傾向がわずかに認められ、5 月以降は明瞭になり、2015 年 5 月の噴火前から続いていた島の膨張状態が収縮に転じているとみられます。

また、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は、1 月以降は 1 日当たり 50 から 200 トンで、2015 年 5 月の噴火前後より大幅に減少した値で経過しています。しかし、2014 年 8 月の噴火前よりはやや多い状態です。

これらのことから、引き続き噴火の可能性がありますが、2015 年 5 月 29 日と同程度の噴火が発生する可能性は、2016 年 2 月の検討時より更に低下していると考えられます。

新岳火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。向江浜地区から新岳の南西にかけての火口から海岸までの範囲では、火砕流に警戒してください。風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。降雨時には土石流の可能性があるので注意してください。

第 135 回火山噴火予知連絡会 全国の火山活動の評価

本日、第 134 回火山噴火予知連絡会（平成 28 年 2 月 17 日）以降の全国の火山活動について検討を行い、結果を以下のとおり取りまとめました。

○全国の主な火山活動

今期間（平成 28 年 2 月 17 日～6 月 14 日）、桜島、阿蘇山、諏訪之瀬島及び新潟焼山で噴火が発生しました。

口永良部島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 3）〕については別に「口永良部島の火山活動に関する検討結果」として取りまとめました。

桜島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 3）〕

昭和火口及び南岳山頂火口の噴火活動は活発な状態で経過しています。始良カルデラの地下深部の膨張が続いていることから、火山活動の更なる活発化の可能性もあり、引き続き火山活動の推移を注意深く監視していく必要があります。

昭和火口及び南岳山頂火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意してください。

西之島〔火口周辺警報（入山危険）〕

西之島では、火山活動の明らかな低下が認められるものの、火山ガスの放出が続いています。火口周辺では小規模な噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

吾妻山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 2）〕

大穴火口の噴気活動や熱活動はやや活発な状態が続いています。大穴火口付近では小規模な噴火が発生する可能性がありますので、大穴火口周辺では、弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石、火山ガスに注意してください。

草津白根山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 2）〕

湯釜火口の北から北東内壁及び水釜火口の北から北東側にかけての斜面で熱活動の活発な状態が継続しています。また、北側噴気地帯の噴気活動が活発化し、ガス組成及び湯釜湖水の化学成分の活動活発化を示す変化が継続しています。

草津白根山では火山活動が活発化した状態が続いており、小規模な噴火が発生する可能性があることから、湯釜火口から概ね 1 km の範囲では、

噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石、火山ガスに注意してください。

浅間山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 2）〕

火山性地震のやや多い状態が続いています。6月6日以降は弱い火映を時々観測しています。

山頂火口から概ね 2 km の範囲では弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。登山者等は危険な地域には立ち入らないよう地元自治体等の指示に従ってください。

風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意してください。

御嶽山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 2）〕

火口列からの噴煙活動や地震活動が続いていることから、今後も小規模な噴火が発生する可能性があります。

火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意してください。

阿蘇山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 2）〕

2月から5月にかけて時々小規模な噴火が発生しました。火山性微動の振幅は消長を繰り返しており、二酸化硫黄放出量は概ね多い状態が続いています。

中岳第一火口では、時々小規模な噴火が発生していることから、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があります。

中岳第一火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石、火山ガスに注意してください。

新潟焼山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1）〕

2015 年夏頃から噴煙がやや高く上がる傾向が認められています。4月及び5月に実施した上空からの観測で山頂周辺の降灰を確認しました。ごく小規模な噴火があったものとみられます。

2016 年 5 月 1 日に振幅の小さな火山性地震が増加し、2日以降は減少する傾向にあります。5月4日以降低周波地震も時々発生しています。

GNSS による地殻変動観測では、2016 年 1 月頃から新潟焼山を南北に挟む基線で伸びがみられています。

想定火口内（山頂から半径 1 km 以内）に影響を及ぼすような噴火が発生するおそれがあります。今後の火山活動に注意してください。登山者等は地元自治体等の指示に従って危険な地域には立

ち入らないでください。

各地方の主な活火山の火山活動評価

1. 北海道地方

①アトサヌプリ〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

②雌阿寒岳〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

- 5月3日から25日にかけて、ポンマチネシリ火口付近の浅い所を震源とする微小な火山性地震がやや増加しました。

- ポンマチネシリ96-1火口の噴煙量は、2015年6月頃以降やや多い状態が続いています。また、ポンマチネシリ96-1火口近傍の地下における熱活動の活発化の可能性を示す全磁力の変化は継続しています。今後の火山活動の推移に注意してください。

③大雪山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

④十勝岳〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

- 火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

- ここ数年、山体浅部の膨張、大正火口の噴煙量増加、地震増加、火山性微動の発生、発光現象及び地熱域の拡大などを確認しており、長期的にみると火山活動は高まる傾向にあるので、今後の火山活動の推移に注意してください。

⑤樽前山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

- 4月26日に火山性微動が2回発生しましたが、4月27日に実施した現地調査及び上空からの観測では地熱域の広がりに変化はなく、噴気等の状況に大きな変化はありませんでした。

- 山頂溶岩ドーム周辺では、1999年以降、高温の状態が続いているので、突発的な火山ガス等の噴出に注意してください。

⑥倶多楽〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑦有珠山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑧北海道駒ヶ岳 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑨恵山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

2. 東北地方

①岩木山 [噴火予報（活火山であることに留意）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

②八甲田山 [噴火予報（活火山であることに留意）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

③秋田焼山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

④岩手山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑤秋田駒ヶ岳 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

- ・女岳では、2009年から拡大した地熱域が引き続きみられますが、2014年10月以降は大きな変化は認められません。
- ・地震活動は、一時的に増加することもありましたが概ね低調で、地殻変動にも特段の変化はみられません。地熱活動が続いていますので、今後の火山活動の推移に注意してください。

⑥鳥海山 [噴火予報（活火山であることに留意）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑦栗駒山 [噴火予報（活火山であることに留意）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑧蔵王山 [噴火予報（活火山であることに留意）]

- ・御釜付近が震源とみられる火山性地震は、少な

い状態で経過しました。

- ・今期間に発生した火山性微動のうち、3月6日に発生した火山性微動は、継続時間の長いものでしたが、最大振幅はこれまでに発生した微動と同程度でした。この微動発生に伴いわずかな傾斜計の変化がみられましたが、微動発生前の状態に戻っています。
- ・長期の傾斜変動では、2014年8月頃から南東上がりの傾向がみられていましたが、2015年11月頃から停滞しています。
- ・GNSS連続観測では、一部の基線で2014年10月以降、山体のわずかな膨張を示す変化がみられていましたが、2015年6月頃から停滞しています。
- ・5月12日及び6月2日に行った現地調査では、振子沢付近の温泉湧出域で、湧出量の減少、湧水温度の低下がみられました。また、地表面温度の高温域は認められませんでした。丸山沢の地熱域や噴気の状況に特段の変化は認められませんでした。
- ・2013年以降、火山性地震の増加や火山性微動の発生が観測されており、長期的にみると火山活動はやや高まった状態にありますので、今後の火山活動の推移に注意してください。

⑨吾妻山 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

- ・大穴火口付近直下が震源とみられる火山性地震は、3月28日から4月6日にかけて 多い状態となりましたが、その他の期間は少ない状態で経過しました。
- ・遠望カメラによる観測では、大穴火口（一切経山南側山腹）の噴気の高さは100m以下で経過しました。
- ・5月19日に実施した現地調査では、2015年10月に新たな噴気が確認された大穴火口北西で、前回確認された噴気孔の南側に新たな複数の弱い噴気が線状（約100m）に噴出しているのを確認しました。大穴火口の噴気に変化はみられませんでした。
- ・5月に実施した全磁力繰り返し観測結果によると、2014年10月以降の大穴火口周辺の地下での熱活動の活発化を示す全磁力値の変化は、2015年秋以降停滞傾向にあると考えられます。
- ・GNSS連続観測では、2014年秋以降に一切経山付近の膨張を示す緩やかな変化がみられていましたが、2015年7月頃から停滞または収縮の傾向となっています。5月27日から30日にかけて実施した大穴火口付近のGNSS繰り返し観測でも、前回（2015年6月22～25日）の観測以降、大穴火口を挟む基線で収縮を示す変化がみられました。
- ・浄土平観測点（大穴火口の東南東約1km）の傾斜計では、2015年6月頃まで西南西側（火口方

向側）上がりの変動で推移し2015年7月頃から停滞していましたが、2015年9月後半頃から西側下がりの傾向となっています。

- ・大穴火口付近の浅部での熱活動が高まった状態が継続しています。小規模な噴火が発生する可能性があると考えられますので、大穴火口周辺では、弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。また、大穴火口の風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石、火山ガスに注意してください。

⑩安達太良山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑪磐梯山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

3. 関東・中部地方、伊豆・小笠原諸島

①那須岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

②日光白根山 [噴火予報（活火山であることに留意）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

③草津白根山 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

- ・湯釜火口の北から北東内壁及び水釜火口の北から北東側にかけての斜面で熱活動の活発な状態が継続しています。また、2015年9月以降、北側噴気地帯で噴気活動が活発になっています。
- ・2014年5月以降、北側噴気地帯の硫化水素ガス成分の減少した状態が継続しています。
- ・2014年3月上旬から湯釜付近及びその南側を震源とする火山性地震が増加していましたが、2014年8月下旬以降概ねやや少ない状態で経過しています。
- ・GNSSによる地殻変動観測では、2014年4月頃から湯釜を挟む基線で伸びの傾向がみられ、2015年4月頃から鈍化、11月頃から停滞傾向が認められます。2016年4月及び5月に実施した湯釜周辺のGNSS及び光波測距による繰り返し観測では、2015年10月に比べて湯釜付近の収縮を示す変化がみられています。

- ・2014年3月頃からみられていた湯釜周辺の傾斜計の湯釜付近の膨張を示す変動は、2015年11月頃から停滞傾向が認められます。

- ・2014年5月頃から湯釜近傍地下の岩石の熱消磁によると考えられる全磁力変化がみられていましたが、2014年7月以降は停滞しています。
- ・草津白根山の火山活動は活発化を示す変化が観測され、その状態が継続しており、小規模な噴火が発生する可能性があることから、湯釜火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

④浅間山 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

- ・2015年6月19日の噴火後、噴火は観測されていません。
- ・6月6日以降の夜間に高感度カメラで確認できる程度の弱い火映を時々観測しています。
- ・火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は、2015年6月から多い状態が続いていましたが、12月以降減少しました。2016年2月以降は1日あたり300トン以下となっていました。6月10日に400トンとなっています。
- ・火山性地震はやや多い状態で経過しています。発生している地震はその多くがBL型地震です。
- ・火山性微動は、2015年9月以降は少ない状態で経過していましたが、2016年1月以降やや増加しています。
- ・山頂火口から概ね2kmの範囲では弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。登山者等は危険な地域には立ち入らないよう地元自治体等の指示に従ってください。
- ・風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意してください。

⑤新潟焼山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

- ・2015年夏頃から山頂部東側斜面の噴煙がやや高く上がる傾向が認められ、12月下旬からは噴煙量も多くなっています。4月15日及び5月6日に実施した上空からの観測で降灰を確認しました。ごく小規模な噴火があったものとみられ、時期は不明ですが、この観測までに複数回発生したものとみられます。
- ・2015年以降、火山性地震がやや増加しています。2016年5月1日に振幅の小さな火山性地震が増加し、日回数が25回に達しました。2日以降は次第に減少する傾向にありますが、以前の状態には戻っておらず、5月4日以降低周波地震も時々発生しています。
- ・GNSSによる地殻変動観測では、2016年1月頃から新潟焼山を南北に挟む基線で伸びがみられています。

- ・想定火口内（山頂から半径 1 km以内）に影響を及ぼすような噴火が発生するおそれがあります。今後の火山活動の推移に注意してください。
- ・想定火口内は、平成28年3月2日から、地元自治体等により立入規制が実施されています。登山者等は地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

⑥弥陀ヶ原 [噴火予報（活火山であることに留意）]

- ・弥陀ヶ原近傍の地震は少ない状態で経過しています。
- ・立山地獄谷では以前から熱活動が活発でしたが、2012年6月以降の観測で噴気の拡大・活発化や温度の上昇傾向が確認されており、今後の火山活動の推移に注意してください。また、この付近では火山ガスに注意してください。

⑦焼岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑧乗鞍岳 [噴火予報（活火山であることに留意）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑨御嶽山 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

- ・今期間、噴火は発生しませんでした。GNSS連続観測の一部の基線では、2014年10月以降山体の収縮によると考えられる縮みの傾向がみられており、火山活動は長期的には低下傾向にあります。
- ・しかしながら、剣ヶ峰山頂の南西側の火口列からの噴煙活動は継続しています。火山性地震は、2015年7月以降月回数70回前後の概ね横ばいで経過しています。5月19日には火山性微動も発生しました。
- ・このように火口列からの噴煙活動や地震活動が続いていますので、小規模な噴火が発生する可能性があります。
- ・火口から概ね1 kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意してください。

⑩白山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑪富士山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火

山であることに留意）]

- ・2011年3月15日に山頂の南南西約5 km、深さ15 kmを震源とする静岡県東部の地震（マグニチュード6.4、最大震度6強）が発生しました。それ以降、その震源から山頂直下付近にかけて地震活動が活発な状況となりました。その後、地震活動は低下しつつも継続しています。
- ・その他の観測データに異常を示すものはなく、噴火の兆候は認められません。

⑫箱根山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

- ・地震活動は低調に経過しています。火山性微動は観測されていません。
- ・噴火の兆候は認められませんが、大涌谷周辺の想定火口域では、引き続き噴気活動が活発なところがありますので、噴気や火山ガスに引き続き注意してください。

⑬伊豆東部火山群 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑭伊豆大島 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

- ・地殻変動観測によると、短期的な膨張や収縮があるものの、長期的には、地下深部へのマグマ供給によると考えられる島全体の膨張傾向が継続しています。
- ・その他の観測データには特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。長期的には山体の膨張が継続していることから、今後の火山活動に注意してください。

⑮新島 [噴火予報（活火山であることに留意）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑯神津島 [噴火予報（活火山であることに留意）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑰三宅島 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

- ・噴煙は白色で、高さは火口縁上概ね500 m以下で経過しています。
- ・山頂浅部を震源とする地震は概ね少ない状態で経過しています。
- ・2月22日から23日にかけて継続時間の合計が約6時間の火山性微動が発生しました。5月11日23時頃から12日03時頃にかけて再び火山性微動が発生し、これに伴い、傾斜計で火口の南東

から南方向が沈降する傾向の変動が観測されました。

- 火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は、長期的には緩やかな減少傾向にあります。火山性微動の発生直後の 5 月 12 日午前中に実施した現地調査では、1 日あたり 1,200 トンに増加しました。翌日（13 日）には 1 日あたり 400 トンに減少し、その後は 1 日あたり 100 トンで経過しています。
- GNSS による観測では、山体浅部の収縮を示す地殻変動は徐々に小さくなり、2013 年頃から停滞していましたが、2016 年初め頃から伸びの傾向がみられます。山体深部の膨張を示す地殻変動も継続しています。2016 年 2 月から 4 月頃にかけて、これらの伸びの傾向に一時的な加速が認められました。
- これらのことから、今後も規模の小さな噴出現象が突発的に発生する可能性があります。
- 山頂火口及び主火孔から 500m 以内では火山灰噴出に引き続き注意してください。

⑱八丈島 [噴火予報（活火山であることに留意）]

- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑲青ヶ島 [噴火予報（活火山であることに留意）]

- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑳西之島 [火口周辺警報（入山危険）]

- 2013 年 11 月 20 日に西之島の南東海上で確認された噴火では、噴石等を放出する爆発的噴火や溶岩の流出により新島が拡大し、2013 年 12 月 26 日には西之島旧島と一体となりました。
- 2015 年 11 月 17 日にブルカノ式噴火を確認して以降、噴火は観測されていません。溶岩の流出は停止し、島の面積の拡大も停止しているものとみられます。
- 島の周辺の観測では、2015 年 11 月中旬まで噴煙の放出を示す震動や空振が観測されていましたが、11 月下旬以降はほとんど観測されていません。
- 2015 年 12 月以降は地表面温度の低下した状態が続いています。
- 海上や上空からの観測によると、2016 年 4 月 14 日及び 5 月 4 日には第 7 火口から白色の噴気、5 月 20 日及び 6 月 7 日には、同火口から二酸化硫黄とみられる火山ガスの放出が確認されました。また 6 月 6～8 日にも弱い噴気が認められました。
- 島の海岸付近では変色水域が確認されています。
- 西之島では、火山活動に明らかな低下が認められ、噴火の可能性はかなり低くなっているもの

の、火山ガスや噴気が時々観測されており、小規模な噴火が発生する可能性は否定できません。

- 火口周辺では、小規模な噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

㉑硫黄島 [火口周辺警報（火口周辺危険）]

- 島西部の旧火口（通称：ミリオンダラーホール）では、2013 年 4 月 12 日以降、噴火は確認されていません。
- 地震活動はやや少ない状態で経過しています。火山性微動は時々観測されています。
- GNSS による地殻変動観測では、2014 年 2 月下旬頃から隆起・停滞を繰り返し、2015 年 3 月頃から隆起速度が上がっていましたが、10 月以降は 2 月以前の状態に戻っています。
- 硫黄島では火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、従来から小規模な噴火が発生した地点およびその周辺では警戒してください。

㉒福徳岡ノ場 [噴火警報（周辺海域警戒）]

- 長期間にわたり変色水が確認されており、小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では警戒してください。

4. 九州地方・南西諸島

①鶴見岳・伽藍岳 [噴火予報（活火山であることに留意）]

- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

②九重山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
- GNSS 連続観測によると、2012 年頃から一部の基線で伸びの傾向が認められますが、2016 年 1 月頃から鈍化しています。今後の火山活動の推移に注意してください。

③阿蘇山 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

- 2 月 17 日、18 日、3 月 4 日、4 月 16 日及び 5 月 1 日に噴火が発生しました。
- 2 月 18 日の噴火では乳白色の噴煙が火口縁上 1,600m まで上がった他、火口から北西約 400m に噴石が飛散するのを確認しました。
- 火山性微動の振幅は、2 月から 3 月上旬及び 4 月末から 5 月中旬にやや大きな状態となり、その後も消長を繰り返しています。また、4 月 16 日から 18 日にかけて、調和型の火山性微動が発生し、一時的に振幅のやや大きな状態となりま

した。

- ・火山性地震は、3月に一時的にやや多い状態となりましたが、概ね少ない状態で経過しました。
- ・孤立型微動は概ねやや多い状態で経過しました。
- ・中岳第一火口内で引き続き灰白色から灰色の湯だまりを確認しました。また、火口底での土砂噴出も引き続き確認しました。3月以降、火口底の南側で、4月以降は南西側でも高温の噴気孔を確認しました。
- ・火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は、1月及び2月は1日あたり300～1,800トンと一時的に減少する時もありましたが、3月以降は1日あたり1,200～2,500トンと多い状態で経過しています。
- ・GNSS観測では、「平成28年熊本地震」に伴い、阿蘇山を囲む基線で最大0.9m程度の伸びが発生し、中岳第1火口周辺ではわずかに縮むなどの変動が認められます。
- ・中岳第一火口では、時々小規模な噴火が発生しており、2015年12月25日程度の火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があります。
- ・火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石、火山ガスに注意してください。

④雲仙岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
- ・長期的には2010年頃から火山性地震の活動がやや活発となっていますので、今後の火山活動の推移に注意してください。

⑤霧島山

新燃岳 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

- ・新燃岳では、今期間噴火は発生していません。
- ・白色の噴煙は、5月12日に火口縁上300mまで上がりましたが、それ以外の期間のほとんどは火口内で消散する程度でした。
- ・2016年2月14日から火山性地震がやや増加し、2月23日には日回数155回と多い状態となりましたが、2月26日以降は少ない状態となりました。震源は、新燃岳付近のごく浅いところから海拔下2km付近に分布しました。火山性微動は2015年3月1日に発生して以降、観測されていません。
- ・GNSS観測によると、新燃岳の北西数km（えびの高原付近）の地下深くにあると考えられるマグマだまりの膨張を示す地殻変動は、2015年1月頃から停滞しています。一方、新燃岳周辺の一

部の基線では、2015年5月頃からわずかに伸びの傾向がみられていましたが、10月頃から停滞しています。

- ・2015年11月頃から西側斜面の割れ目の下方で、やや温度の高い部分が観測されました。2016年4月以降に割れ目の下方からも、ごく弱い噴気が上がっていることを確認しました。噴気が上がっていた周辺で、弱い熱異常域となっていることを確認しました。
- ・干渉SARによる解析では、火口内に蓄積された溶岩のわずかな体積膨張が続いています。
- ・今後も火口周辺に影響のある小規模な噴火が発生する可能性がありますので、新燃岳火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。噴火時には、風下側では火山灰だけではなく小さな噴石（火山れき）が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。降雨時には泥流や土石流に注意してください。

御鉢 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

- ・火山性地震は2015年12月に増加しましたが、その後次第に減少傾向にあります。
- ・5月25日に継続時間が約1分半の振幅の小さな火山性微動が発生しました。御鉢で火山性微動を観測したのは2015年11月19日以来です。
- ・今のところ噴火の兆候は認められませんが、時折地震の増加や火山性微動の発生がみられることから、今後の火山活動の推移に注意してください。

えびの高原（硫黄山）周辺 [噴火予報（活火山であることに留意）]

←平成28年2月28日に噴火予報（活火山であることに留意）から火口周辺警報（火口周辺危険）に引上げ、平成28年3月29日に火口周辺警報（火口周辺危険）から噴火予報（活火山であることに留意）に引下げ

- ・火山性微動が時々発生し、それに伴い傾斜計では硫黄山の北西方向にわずかに隆起するような変動が2015年7月頃から2016年2月まで繰り返し観測されました。
- ・水準測量及び干渉SARによると、2016年3月まで硫黄山を中心とするわずかな隆起が観測されています。
- ・2月28日にはえびの高原（硫黄山）周辺の浅いところを震源とする火山性地震が増加し、日回数で53回発生しましたが、その後少ない状態で経過しています。
- ・2015年12月14日に硫黄山火口内の南西側で確認された噴気活動を伴った熱異常域は、硫黄山火口南斜面及び南東側に拡大しています。
- ・2014年夏頃から熱消磁によるとみられる全磁力変化が観測されています。
- ・えびの高原カメラ（硫黄山火口から約1km）に

よると、噴気は高さ概ね20mで経過しました。

- えびの高原（硫黄山）周辺では、2015年7月頃から火山性微動が時々発生し、硫黄山火口内の南西側で弱い噴気や熱異常域が確認され、次第に拡大するなど、火山活動がやや高まってきています。噴気地帯の周辺では、突発的な噴出現象が発生する可能性がありますので、今後の火山活動の推移に注意してください。また、火山ガスにも注意してください。

⑥桜島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）]

- 昭和火口および南岳山頂火口の噴火活動は、活発な状態で経過しています。
- 昭和火口では2016年2月5日の爆発的噴火以降、時々噴火が発生しており、噴煙の高さが火口縁上3,000m以上の噴火は15回発生し、5月1日15時36分の爆発的噴火では、多量の噴煙が火口縁上4,100mに達しました。
- 大きな噴石が4合目（昭和火口より800～1,300m）まで達する噴火が8回発生し、ごく小規模な火砕流が3回発生しました。火砕流は昭和火口の東および南東側へ400から500m流下しました。
- 南岳山頂火口では噴火が10回発生し、5月13日16時38分の噴火では、多量の噴煙が火口縁上3,700mに達しました。
- 火山性地震、火山性微動はともに少ない状況でした。
- 地殻変動観測では、2015年8月15日の急激な変動以降、顕著な山体膨張を示す急激な変動はみられません。GNSS観測では、桜島北部での隆起が2015年1月から続いています。さらに始良カルデラを挟む基線での伸びの傾向は続いています。
- 火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は1日あたり100～600トンと2016年1月以前より増加しています。
- 桜島の火山灰の月別の噴出量は、2016年1月約3万トン、2月及び3月約10万トン、4月約20万トンとわずかずつ増加傾向にあります。
- 以上のように、桜島の噴火活動は活発な状態となっており、今後も活発な噴火活動が継続する考えられます。桜島へマグマを供給していると考えられる始良カルデラの地下深部では膨張が続いていることから、火山活動の更なる活発化の可能性もあり、引き続き火山活動の推移を注意深く監視していく必要があります。
- 昭和火口及び南岳山頂火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石（火山れき）が遠方まで風に流されて降るため注意してくだ

さい。

- 爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。また、降雨時には土石流に注意してください。

⑦薩摩硫黄島 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
- 硫黄岳火口では、噴煙活動が続いており、火口内では火山灰等の噴出する可能性があります。また、火口付近では火山ガスに注意してください。

⑧口永良部島 [噴火警報（噴火警戒レベル5、避難）] ←平成28年6月14日に噴火警戒レベルを5（避難）から3（入山規制）に引下げ

- 新岳では、2015年6月19日の噴火後、噴火は観測されていません。火映は2015年5月29日の噴火以降観測されていません。
- 火山性地震は時々発生していますが、新岳火口付近の火山性地震は、2014年8月の噴火前よりやや少ない状況です。火山性微動は観測されていません。
- 現地調査では、2015年9月以降、新岳火口の西側割れ目付近の熱異常域の温度の低下が認められていますが、噴煙は最高で火口縁上400mまで上がるなど、2014年8月3日の噴火前よりは多い状態が続いています。
- 地殻変動観測では、山麓の七釜-口永良部島(国)、七釜-ヘリポートの、新岳火口を挟むGNSS連続観測の基線長に、2016年1月頃から縮み傾向がわずかに認められ、5月以降は明瞭になっています。
- 火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は、2016年1月以降、1日あたり50～200トンと2014年8月3日の噴火前よりは多い状態が続いています。
- 2015年5月29日の噴火前にみられた島の膨張は、2016年1月頃から収縮に転じており、2015年5月29日と同程度の噴火が発生する可能性は更に低下してきています。
- 火山ガス（二酸化硫黄）の放出量が、2014年8月3日の噴火前よりは多い状態が続いており、引き続き噴火の可能性があります。
- 新岳火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。
- 向江浜地区から新岳の南西にかけての火口から海岸までの範囲では火砕流に警戒してください。
- 風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が風

に流されて降るため注意してください。降雨時には土石流の可能性があるので注意してください。

⑨諏訪之瀬島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

- ・御岳火口では、爆発的噴火が32回発生するなど、活発な火山活動が継続しています。
- ・十島村役場諏訪之瀬島出張所によると、1月から4月には集落（御岳の南南西約4km）で時々降灰が確認され、3月と4月には時々鳴動が確認されました。
- ・諏訪之瀬島周辺を震源とするA型地震が増加し、4月の地震回数は1,195回となりました。このうち、島内の震度観測点（鹿児島十島村諏訪之瀬島）で震度1以上を観測するA型地震が13回発生し、4月24日22時27分にはマグニチュード4.2の地震が発生し、震度4を観測しました。
- ・火山性微動は、時々発生しています。
- ・諏訪之瀬島では、活発な噴火活動が続いており、今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風で流されて降るおそれがあるため注意してください。